



京都市政 レポート Vol.23

今回のテーマは **救命救急**

江村理紗（えむりさ）

1985年10月25日京都府京都市生まれ。
中立保育園、嵯峨野保育園、
嵐山小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高校、
同志社大学政策学部（一期生）卒業。
株式会社ミスミ（商社・東証一部上場）では、商品開発担当。
2011年京都市議会議員選挙に出馬。現在、京都市議会議員2期目。

- ✓ 救急相談センター導入の提案
- ✓ 救命救急率NO.1の都市に学ぶ口頭指導
- ✓ AED24時間体制の充実を要求

119番通報の判断に「救急相談センター」を提案 京都市で導入検討へ！

119番に電話？
それとも・・・

急な病気やケガのときに、
「救急車を呼んだ方がいいのかな？」
「一晩様子を見ようかな」
など迷ったことはありませんか？

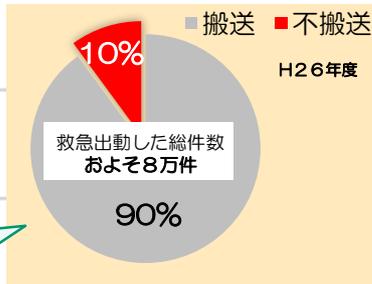
そんな時には……

**医療従事者が
アドバイスをします！**

京都市の救急車・出動レポート（H26）

| | | |
|---|--------------|------------|
|  | 救急車の搬送にかかる費用 | 3万2501円/1回 |
|  | 救急出動の年間経費 | 約26億5000万円 |
|  | 救急出動件数 | 約8万件 |
|  | 不搬送の件数 | 8209件 |

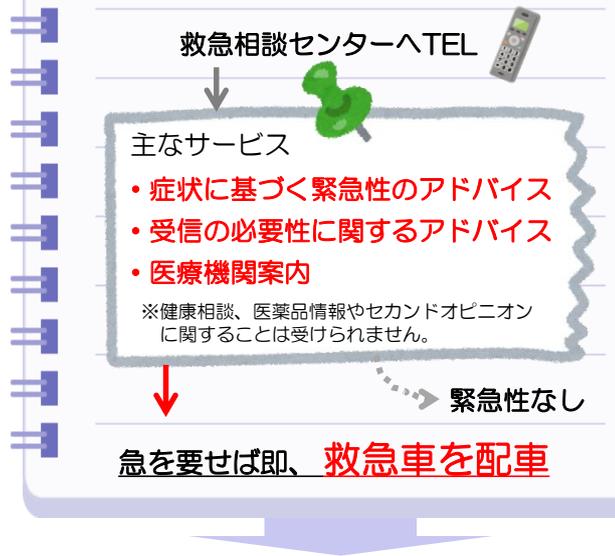
不搬送：
通報により救急出動するも、本人による辞退や、通報者と本人が立ち去っている等により搬送に至らない事例



年間で搬送のために出動したうち、およそ**10%**が不搬送

この10%の不搬送を解消できれば
救急車利用の適正化にも繋がります

救急相談センターの仕組み



救急相談センターの効果

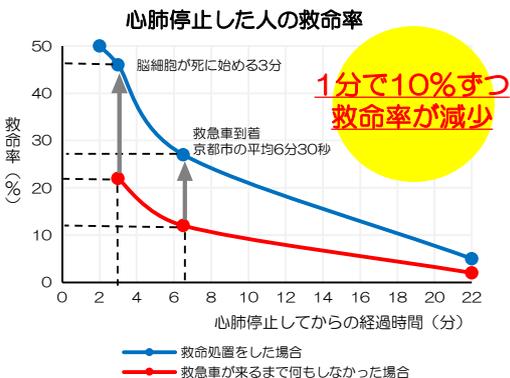
- ✓ 119の判断・助言
- ✓ 救急不搬送の軽減

救急救命率ナンバー1 ～世界一命を救う街、シアトルに学べ～



京都市の年間119番通報件数は8万3000件
通報時に心肺停止状態は約1300名

1. 伸び悩む救命率



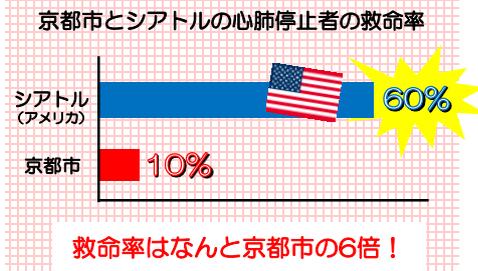
心肺停止者の救命は、一分一秒を争います。京都市では普通救命講習を実施していますが、救命率の向上につながるのは至難の業です。

なぜなら、いざ心肺停止の方に遭遇すれば、心理的なハードルはつきまとうからです。



2. シアトルのとりくみ

そんな中、注目すべきモデルがアメリカのキングカウンティ郡、シアトルにありました。



シアトルの救命率が高い理由は、通報時の“口頭指導”にあります。



倒れている人がいたら、CPR(救命処置)出来るけど、不安なので911(日本でいう119番)に電話するよ。

シアトルでは着信後平均24秒で緊急性を察知し、電話越しですぐに心肺蘇生の口頭指導を実施します。

3. 救命率を上げるには

- 救命講習で正しい知識と実践のイメージを持つこと
- いざという時の緊急通報時、スムーズな口頭指導

●911通報での口頭指導の内容(一部)

✓救急救命が必要な場合…
その場で電話口の相手に心肺蘇生法の指導を即実施。

✓その場に居合わせて、躊躇ったり、パニックになった市民に対して…
丁寧に寄り添い、心肺が復活するまで、ないしは、除細動器を積んだ救急車到着まで、電話を切ることはない。

京都市でも救命率向上のために徹底した仕組みを導入するよう議会で求めました。普通救命講習と共に、いざという時に講習を活かせる体制強化に向け動いております。

AED利用の環境改善を要求

京都市内に設置されているAEDは

現在約3000箇所あり、

9年間で800名あまりの命が救われています。

【参考】目撃された心原性心停止例の1か月後 (総務省消防庁2010年集計)



京都市のAEDの設置場所を示すマップです

ただし・・・



夜間のAED環境が不十分



AEDは室内設置が大半で、夜間は使用環境が著しく減少。

市は24時間のAED対応箇所を未把握。

➡ 119番通報時の確実に使用可能なAED設置箇所のアナウンスが不可能

改善

市には早急に24時間対応の把握と拡充を要求

➡夜間に光るシール貼り付け開始(H29～)

市民に分かりやすいようネット掲載も要求。

◎二重行政の弊害とも考えられる課題も・・・

京都府も独自のAED設置マップを作成していますが、調べてみると、府の管轄する市内のAED設置箇所の多くが市では把握できていないことが分かりました。この点も議会で指摘し、府との情報共有がなされる予定です。



補足情報 ～民間の広告活用法でAEDを無料設置～

ボックスに社名を掲載する企業が設置費用を負担することにより、AED設置を希望されている場所へ無料で設置することが可能。AEDの価格が高いため多く設置することが難しいと思われる地域単位でも検討が可能になります。このような民間アイデアを活用したさらなる取組みが大切です。

地域の各所でお話します・伺います!

地域のご相談、市政のご要望をはじめ、江村りさの市政活動を実際に聞いてみたい、という方は是非お声掛けください! 江村りさが伺います。



京都市議会議員

江村りさ事務所

TEL 075-354-6225

FAX 075-384-0202

〒616-8101 京都市右京区太秦和泉式部町13-2大村ビルB

E-mail emurar@nifty.com HP http://www.emurarisa.jp/